

# 石垣ロータリークラブ週報

No. 2636

会長: 大浜 一郎 副会長: 遠藤 正夫 幹事: 宮城 早人 副幹事: 池城 貞光



RI 会長:  
イアン H. S. ライズリー

ロータリー:  
変化をもたらす

地区ガバナー: 吉田 雅俊氏「感動と調和」

## ●クラブテーマ「絆とおもいやり」

例会日 水曜日 12:30~13:30  
例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
TEL/FAX(0980)83-2917  
<http://ishigaki-rotary.jimdo.com>  
E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

### ◎カシオペヤ座

北の空で輝くW形をした星座。この星座は北の方角を探す目印になる。北斗七星が見えづらい時期に北極星を探す際には、カシオペヤ座を目印に探すと良いでしょう。時間や季節を問わず、いつでも使える方角の調べ方です。



## 8月30日(水)第8回(通算2760回)例会報告

＜司会進行＞我那覇 宗広

ロータリーソング・「えんどうの花」「四つのテスト」

ソングリーダー・・・宮良 幸男

ゲスト・・・与那嶺一文氏(八重山警察署署長)

船田拓氏(生活安全課長)・當山鮎子(地域課)

平地有希子氏(八重山地区防犯協会)

メイクアップ・・・上勢頭保・佐藤智博・我那覇宗善

大瀨達也・大浜勇人・小底厚子・今西敦之・東上里和

出席報告

会 員 総 数	42名
出席義務会員	41名
出 席 数	27名
欠 席 数	14名
出 席 率	65. 85%
通算出席率(8月)	70. 07%



## 本日のこここ

・与那嶺署長、卓話ありがとうございました。

感謝いたします。(大浜 一郎)

・八重山警察署与那嶺署長を卓話

にお迎え出来て、本当に

嬉しいです。(上原 晃子)



BOX ￥ 2,000 (累計￥62,000)

コイン ￥ 4,551 (累計￥30,470)

合 計 ￥92,470

## 会長挨拶：大浜 一郎

今日は与那嶺一文八重山署署長、船田拓生活安全課長、また随行として當山鮎子さん、平地有希子さん、4名の方にご参加いただきまして、ありがとうございます。今日は地域の安全を守る講話でございますので、しっかり耳を傾けたいと思います。

最近、観光客がピークですし、海外からのお客様も多くて、この島の人口からしてはあり得ない数になってきていると思います。統計によると、沖縄県の求人倍率に関しては1.8くらいでしたが、地域別に見ると八重山管内が突出して高い、4.5倍、業種業態によっては人手不足ということでした。一番低いのが沖縄市の0.8、沖縄市は働きに出る人が多いんだと思いますが、地域によっても、地域の経済の活性化というのも連動しているんだなど、業種業態によっても人手不足が膨らんでくるんだなどと言う事を改めて思ったりしています。

その中で、美崎町に行くと9割くらいは地元の方がいらっしやらない、いろんな方の出入りがある、活性化すればするほど地域の治安の問題というのは避けては通れません。弊社でもレンタカーの事業をしていますが、やはり事故を起こさないようにと言う事は、貸し出すときに強く言っていますが、やはり事故と言うのは起きてしまいます。また人が多ければ多いほどいろんな問題が出てくる。それをしっかりと守っていただけるのが八重山署の皆さんの有難い働きだと、いつも感謝もうしあげております。本日は管内における概況についてお話をいただけると言う事で、非常に興味深くまた真摯に勉強させて頂きたいと思っております。

## ゲスト卓話：与那嶺 一文氏

### 八重山警察署 署長



テーマ「八重山警察署管内概況について」

まず八重山署管内の刑法犯の発生状況について、平成14年には1,081件で過去最高を記録しています。現在、三分の一以下にまで減ってきて、7月末で203件となっています。去年は前年度より減らすことができず、今年も6月までで去年より23件増えて、マイナスにするのは厳しいのかなという状況でした。しかし色々な取り組み、例えば八重山署管内で白バイを導入する事はあまりなかったのですが、白バイを導入することなどによって、昨日の時点でマイナス5件にまで減らすできています。犯罪の中で重点犯罪というのがありますが、自転車盗がかなりの数発生してしまっていて、これも白バイを導入したことにより、導入後は発生が極端に減っています。

今回ロータリークラブでの卓話をお引き受けした流れで、防犯協会の副会長である上原 晃子さんの活躍の場をご紹介します。市内の各小学校で「いかのおすし」のストラップを贈呈したり、保育園で「いかのおすし」の紙芝居をやったりしています。また特殊詐欺の被害防止のための広報活動、自転車の鍵をツーロック、2つかけてもらいたいという事で啓蒙活動をしています。防犯協会の方々にも協力いただいています。

次は交通事故の発生状況ですが、レンタカーの事故が増えています。ただし人身事故については、八重山署管内では、平成25年から28年まで少しずつ下がっています。その中でレンタカーによる人身事故は増えたり減ったりしていますが、それほど件数的には多くはありません。一方物損事故に関しては大幅に増えております。その要因と言えるのはレンタカーによる物損事故が増えていますので、その影響ではないかと考えられます。こういった状況から取締を強化するという事と、レンタカー会社等に状況を知ってもらって借りる人に注意喚起をしてもらいたいというような活動も実施しております。今年に入ってから状況は7月末現在で人身事故が45件発生していて、交差点での事故が30件66.6%、県平均は50.4%なので、かなり比率が高い事が分かります。石垣は特に小さな交差点がたくさんあって、その中で優先、優先でないをお構いなしに交差点に入ってくる人がいるのは、皆さんもご存知かと思います。そういう環境の中で、こういった結果が出ているのだろうという事で、交差点での取締や信号無視とか取締を強化している所です。それから高齢者の事故

が14件で31.1%、県平均が17.7%ですので、かなりの率で高齢者の事故も発生しています。これはテレビ等でよく言われる認知症によるブレーキの踏み間違い等の事故ではなく、通常の運転中の過失による事故ですので、まだ認知症云々の問題がここで大きくクローズアップされているという状況では、今のところありません。ただ高齢者が事故を起こしやすいと言うのはあるかと思しますので、高齢者教習とか安全教育などを実施しているところです。

八重山署管内の人身事故の傾向としては、飲酒絡みの事故はまだ0です。去年も0でしたが、それは非常に良い傾向です。それから死亡事故が0、去年も0でした。私が着任してからも0の状態が続いています。11月まで0だと丸2年を達成します。県内の飲酒絡みの事故の状況はかなり悪い状況でして、全交通人身事故2,815件、うち飲酒絡み人身事故が43件です。7月末時点で全国ワースト5位、昨年まで27年連続全国ワースト1位の状況にありますので、そのまま続けばワースト1位を脱却できるという事で、今それを目指して頑張っている所です。死亡事故に関しても同じです。飲酒絡み死亡事故は現在3件で全国ワースト3位、去年までは連続4年ワースト1位ですので、これも何とか脱却するべく頑張っております。

八重山警察署の飲酒運転の検挙状況について、7月末までで37件と去年より+1件で、これは取締を強化すればするほど増えるという現状です。県全体では特にその状態が顕著に表れて、7月末現在前年比+247件で、去年の例で言うと実数で東京や大阪より多い状況です。恥ずかしい事ですので、どんどん検挙して飲酒運転をなくしていきたいと思っています。去年検挙した人を対象に実施したアンケートでは「最初から飲酒後運転するつもりだった」という確信犯的な人が7割という結果でした。誰でも飲酒運転はいけないという事は十分知っていますが、中にはまだ飲酒運転を続けている人がいるという現状にあります。また飲酒運転根絶のために今年から3事業所を実践事業所として認定しております。これからすそ野を広げて、末端まで飲酒運転をやらないという気運を盛り上げていきたいと思っております。

路上寝込みに関しては、統計を取ってから昨年790件で過去最高になっています。夏場はどんどん増えます。今年は数字的には若干減ってはいま

す。今のところ路上寝した人が轢かれたということはないのですが、轢かれる様な事があると、被害者は勿論、轢いた人もかわいそうな状態になると思いますので、減らしていくように飲酒そのもの、深酒を防止するような事とか、石垣市とも話し合いながら、飲酒量を減らしていくとか時間を早めに家に帰るといったような運動をしていこうと考えています。

少年非行について、不良行為による少年補導件数は去年1,256件、今年6月末で622件となっております。これは夜間深夜徘徊している子供や喫煙行為をしている子供などを補導した件数です。深夜徘徊で補導されるのは高校生が多いです。刑法犯、犯罪行為を行った少年については平成27年と28年を比較すると、犯罪少年に関しては18件と19件でほぼ変わらない。触法少年については5件と29件と28年に増えていますが、これは27年から流れた数字だと思います。どんな罪状で検挙されたかという点で窃盗犯が多くて75%、刑法犯で検挙されるのは中学生が多い状況です。沖縄県の少年非行の特徴として、刑法犯少年に占める中学生の割合は全国が35.8%に対して、沖縄県が52.4%、共犯率が全国39.0%に対して62.1%、再犯率が全国37.5%に対して58.2%と全てにおいて高いという特徴があります。いずれも全国ワースト1です。また他に軽微な不良行為（深夜徘徊、飲酒、喫煙など）から悪質な犯罪行為へとエスカレートしていく古典的非行が顕著で、中学校単位で非行集団化へと発展する傾向があります。非行少年を生まない環境としていくためには、警察だけでは限界がありますので、学校、地域社会、ボランティア等、関係機関等と連携しながら、少年非行を生まない社会作りに努めていかないと考えております。

次に最近言われるサイバー犯罪についてです。刑法犯は年々減少しておりますが、サイバー犯罪は右肩上がりに増加傾向にあります。インターネットや携帯電話を悪用した犯罪の特徴としては、匿名性が高く、なりすましが簡単にできる。相手が誰なのか、すぐにはわからない。時間場所に制約がない。現実とつながっている実感がない。被害者の防犯意識が希薄である。トラブルが教師や保護者の目に届きにくいという現状にあります。SNSなどネットでの犯罪被害が全国で過去最多で、昨年で1,736件と平成20年の792件の2.2倍にな

っています。被害にあった子供は高校生が半分以上になっています。自分で自分の裸の写真を撮って送信させられるケースが急増していて、7割強がスマートフォンを使用してという状況にあります。インターネット活用時の注意点としては自分の裸や露出しすぎた写真を送らない。個人情報を提供しない。ネット上での出会いには細心の注意を払うという事を子供たちに十分に理解させる事が、被害を防止するには必要だということです。サイバー犯罪の相談受理件数ですが、県内では詐欺・悪質商法が779件で一番多い状況です。よくある無料サイトと思ってクリックしたら会員登録料を請求されたとか、身に覚えのない有料サイトの利用料金を請求されたとかありますが、これは原則無視して頂いて大丈夫です。ほとんどの請求には支払い義務はないので、不安になる必要はありません。子供とか女性とか誰にも相談できなくて払ってしまう事もありますので、周りに相談することが一番大事かなと思います。気をつけて頂きたいのは業者に対して住所、氏名、電話番号等の個人情報を知らせないという事です。知らせたために職場に電話が来るようになるとか、親に電話が来るようになるとか、被害を拡大させてしまう事になるので、個人情報は絶対に知らせない。そして業者の言い分を鵜呑みにしない。またワンクリック詐欺の中には請求画面が消えなくなる、そういう場合がありますが、対処法について県警のホームページに「ワンクリック請求に注意！」で紹介していますので、ご覧頂ければと思います。そういったサイバー犯罪に遭わないためには、複数の対策を取ってリスクを軽減してほしいと思います。OSや各種ソフトウェアは最新の状態にする。ウィルス対策ソフトを導入して最新の状態を維持する。適正なパスワードの使用・管理と言う事で、最初に複雑なパスワードを設定しておくことが重要です。生年月日、電話番号は避けて下さい。同じパスワードを使いまわさない。他人に教えない、漏らさない。そして犯罪を検挙するには証拠が必要ですので、通信ログや操作ログは重要な証拠となりますので、それを警察に見せて頂くと言う事で検挙に努めて行きたいということです。

最後に高江や辺野古での機動隊の活動についてご紹介して、ご理解を頂きたいと思います。機動隊の過剰警備という事で報道されておりますが、

警察は、適法・適正に行われている抗議行動に参与はしません。辺野古・高江の現場では、現状として工事関係車両の通行を妨害するために抗議をする者が、車両の前に飛び出したり、立ちふさがったり、車両の下に潜り込んだり、そういった危険かつ違法な行為が行われているので、警察としては抗議参加者を含む関係者の安全の確保、一般交通（住民）の安全と円滑の確保等に配慮して、違法状態を解消するために、再三警告を行った上で、どうしてもという時に移動させる、検挙する場合がありますが、過剰とか違法な事を警察がやるというような事は全くありませんので、ご理解をお願いしたいと思います。

## 。☆。例会風景。☆。



与那嶺署長ありがとうございました。